慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	鈴木久蔵訳 実業純率増進の心理
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1915
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.9, No.7 (1915. 7) ,p.832(138)-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	批評と紹介
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19150701-0138

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

鈴木久藏譯『實業能率增進の心理』

（大正四年六月東京二松堂發行　菊版二六七頁定價金壹圓拾錢）

本書は Hugo Münsterberg 氏の著書 Psychology and Industrial Efficiency（千九百十三年二月發行）の譯書なり原著者ミンステアベルヒ氏は獨逸に生れ且つ同國に於て教育を受けたる人なるが、十數年前米國ハーバード大學に招聘せられ、彼の有名なるジエームス教授の後を襲ふて爾來同校に於て實驗心理學の講座を擔任し、當今米國心理學者中屈指の大家なりと云ふ。氏がハーバード大學に赴任せる後數ヶ年中に於て發表せる著書は主として純理心理學又は哲學に關するものなりしが、最近數ヶ年中に於ては氏は社會問題の心理學的研究に努力し此種の研究に關する數篇の著述を公表せり。其中の一を Psychology and Industrial Efficiency とす。原著者は是れより先き Psychologie und Wirtschaftsleben を著はしたるが、此兩書は章項の區分に於て多少の相違あるも、全體の結構及び議論の內容に於て殆んど同一なりと云ふことを得可し。

Psychology and Industrial Efficiency は『緒論』、第一編『最適任者』、第二編『最良の作業』、及び第三編『最良の效果』の四編に分ち、緒論に於て心理學と實際問題との關係を論じ第一編『最適任者』論に於ては電車運轉手、電話交換手等の採用試驗に應用し得可き實驗心理學の研究方法を論じ、此應用科學の利用に依りて如何に雇主が最も效程の高き勞働者を選擇雇用し得可きかを示し、第三編に於ては勞働者の經濟的使用に關する實例、實驗等を擧げ、最後に第三編に於て廣告商品陳列、賣買方法等の改善に依りて營業の成績を良好ならしむるの手段方法等を概論せり。

要するに、本書は企業經營上の成績改善に對して實驗心理學の貢獻する所少からざる可きことを提唱せるものにして各種の企業に就きて經營方法の解決を與へたるものに非ず。換言すれば、企業對應用心理學の關係に就きて問題を提出せるものにして、著者が本書を上梓せるの意志又茲に存せり。斯くの如く本書は企業經營改善の方法を細論せるものには非ざれども、心理學者並に實業家に對して心理學利用の問題に關する注意を喚起せるの點に於て頗る有用の著述たるを失はず少くとも、吾人は本書が實業界に於ける應用心理學の利用を刺戟するに至る可きことを疑はず。從つて吾人は本書が今回邦文に譯出せられたることを欣はざるを得ざるなり。

譯者鈴木文學士は遞信省爲替貯金局に奉職せられ、兼てより同局雇員の作業能率に就きて調査せられつゝある篤學者なりと云ふ。本書の譯者として氏以上の能率を有する人を求むること或は不可能ならんか。譯書は原著に載せたる註解、索引並に卷頭の一少序文を除くの外本論を全部譯載せり。

譯文は忠實にして寧ろ珊か餘りに逐句的に亘れるの憾なきにしも非ざれども、行文流暢にして誤譯と看做す可き節も亦數ふるに足らざるが如し。

吾人は譯者が公務の餘暇を利用して本書の譯述を完成せられ、生きたる能率增進の一好模範を示されたるを賀し併せて茲に我國の實業界に向つて本書を推擧せんと欲する者なり。

前號（第九卷第六號）目次（大正四年六月號）

論說

穗積博士の隱居論を讀む（其一）　法學博士　福田德三
中產階級政策（一）　慶應義塾大學教授　堀切善兵衛
獨逸戰時財政の根抵如何（上）　慶應義塾大學教授　阿部秀助

雜錄

獨逸都市の土地並に住宅政策　村田岩次郎
一九一四年十一月、戰時金融の前途（上）　商學士　高島佐一郎
リカルド分配論特に地代論の研究（三、完）　島文献
再び經濟政策の意義に就て　商學士　松崎壽
山本助教授に質す

批評と紹介

高野岩三郎著『統計學研究』　大阪市野付商店編纂
『株式年鑑』（大正四年度）

附錄

會報　會員住所氏名

編輯主任　堀江歸一　高城仙次郎

●一冊定價　金二十二錢　郵稅金壹錢五厘
●一ヶ年前金　金二圓四十錢　郵稅共

●編輯及び庶務に關する一切の用件は發行所宛
●營業に關する用件は發賣元宛
●原稿締切期日は發行の前月十日限

大正四年六月三十日印刷納本
大正四年七月一日發行

三田學會雜誌
禁轉載
第九卷第七號

毎月一回一日發行

編輯兼發行者　東京市芝區田町三丁目三番地慶應義塾內　石田新太郎
印刷者　東京市赤坂區新坂町五十九番地　金子榮太郎
印刷所　東京市赤坂區新町五丁目四十四番地　金子活版所

發賣元　東京市麹町區有樂町一丁目一番地　紐山書店
振替貯金口座東京二四一七番
電話本局二三一二番

●尙ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

發行所　東京芝三田慶應義塾內　理財學會